

授業のねらい

18世紀なかごろにイギリスではじまる産業革命、同世紀後半にイギリスからの独立をはかるアメリカ独立戦争、この二つのできごとがどのようにおこり、展開したかについて理解する。そのうえで、これらの出来事が政治・経済を中心に、以降の歴史に与えた影響について考える。

主題の問い

解答例 イギリス産業革命は綿工業の分野からはじまり、技術が革新され、さまざまな機械がうみだされた。工場へそれらが導入されると、資本主義社会の本格的形成、都市への人口集中がすすんだ。

アメリカ独立戦争は、イギリスが北米植民地への支配を強化したことをきっかけにはじまり、パリ条約でアメリカ合衆国は独立をはたし、連邦主義にもとづく民主的な国家形成をすすめた。

*教科書の各小見出しの記述内容にあたる。どのようにまとめるかは各生徒にまかされる。

吹き出しの問い

解答例 農村から都市に人口が移動するなかで、児童や女子も家計をささえる必要があった。そのために雇用する側も彼らを低賃金ではたらかせることができた。

発問例

Q① 農業技術の改良はどのようなことをうみだしたか？

A① 耕作者(小作人)の減少。彼らは家族ともに都市のスラムに移り、多くが労働者や浮浪者に転じた。

Q② アメリカは最初からイギリスから独立をはかったのか？

A② 否。当初は彼らが不当と考える税金や独占の撤廃・改善を要求した。

ミュール紡績機

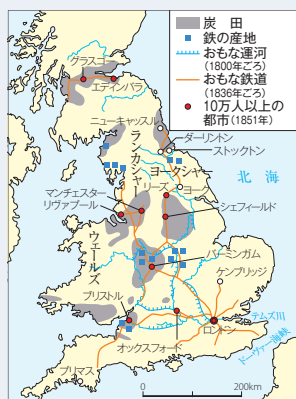
ジェニー紡績機と水力紡績機の長所をあわせもつ。細く強い良質な糸を紡ぐことができ、20世紀まで使用された。

資本主義

生産設備・原料・賃金などの資本を所有する資本家が多額の労働者を雇い、利潤をあげるためにたがいに競争しながら、市場向けの商品生産をおこなう、このような経済のしくみを資本主義という。

授業の展開例

- ① 図3を用いて吹き出しの問いからはじめる。産業革命とは何か、それがイギリスでおこった要因について理解する。そのさい、農業革命を扱う場合には前述の問いや発問例①にふれる。次に綿工業からはじまる技術革新の動きについて図4を用いて把握し、さらにエネルギー革命について理解する(図1・図5・発問例①)。
- ② 産業革命により社会がどのように変化したかについて理解をはかる(図2・p16「都市人口の推移」)。
- ③ アメリカ独立への動きがなぜおこり、戦争がはじまったかについて説明をする(発問例②・図6の活用)。さらに戦争がどのように展開し、植民地側が出した独立宣言はどのような考え方にたっているのか理解をはかる(ひと「ワシントン」・史料7・発問例③)。
- ④ このちに制定された合衆国憲法の内容を概観し、産業革命とともに18世紀におこったこの2つのできごとが以後の世界、そして現代の社会にどのような影響をもたらしたか教師側が情報を補足しながら、考えさせる(ひと「ワシントン」・史料7・発問例④・トライ)。



→ 産業革命期の鉱山での児童労働



POINT

ランカシャーの炭鉱ではたらく子どもたち。工場や炭鉱で多くの児童がはたらかされたことは社会問題となった。

← ロンドンのスラム街
スラム街では、上下水道もなく、糞尿は容器にためて家の前の道路に捨てていた。



図の絵から、子どもが鉱山ではたらかされている理由を考えてみましょう。

4 イギリス産業革命とアメリカ独立戦争

イギリス産業革命やアメリカ独立戦争は、どのようににはじまり、展開したのだろうか。

年	おもな発明
1733年ごろ	ジョン=ケイ 飛び杼
1764年ごろ	ハーグリーブズ ジェニー紡績機
1769年	アークライト 水力紡績機 ワット 蒸気機関の改良
1779年	クロンプトン ミュール紡績機
1785年	カートライト 力織機

↑ 産業革命期の発明



↑ スティーヴンソン(1781~1848)が設計した蒸気機関車(ロケット号)

そのころ日本は

38 第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」

イギリス産業革命

産業革命とは、機械の導入にとどまらず、産業の中心が農業から工業へと大きく変化することである。こうした変化が18世紀後半、最初にイギリスでおこった要因は、いくつかあげられる。第一に原料や市場を提供する海外植民地をもっていたこと、第二に議会を中心とした国家機構が整備され、海外市場獲得のための戦争をおこなう財政的基盤が確立していたこと、第三に農業技術の改良などにより、多くの人口をささえることが可能となり、広大な国内市場が形成されていたことなどである。

最初の技術革新は綿工業の分野ではじまった。この技術革新の過程で大きな役割をはたしたのが、ワットらによる蒸気機関の発明・改良であった。蒸気機関は工場の動力として利用されただけでなく、蒸気船や蒸気機関車の動力としても用いられ、産業の立地を農村部の河川流域から都市へ、あるいは石炭の産地へと移動させていった。またイギリスは石炭に恵まれており、エネルギー源として用いることができた。

工場に機械が導入されたことにより、産業資本家と労働者階級からなる資本主義社会が本格的に形成された。また都市への人口集中もすすみ、新興の工業都市が急激な発展をみた。しかし都市では、公害やスラムの形成などにみられる都市問題が発生し、賃金の安い労働者として児童や女性などが酷使されるようになった。



ミニトピック

リヴァプール・マンチェスター間の鉄道の開通式当日、途中駅で地元選出の代議士が列車にはねられて死亡した。人類史上初の営業鉄道は、その記念すべき初日に事故による死者を出してしまった。

理解を深める

【労働者たちの平均寿命】都市の労働者たちは、長時間労働だけでなく夜間の労働も普通におこなわれ、その間、すわることもできず立ったままの作業を強いられた。工場内は換気されずに汚れ、機械油の臭気や塵埃でいっぱいであった。

議会報告書によれば、1840年のリヴァプールにおける平均寿命を各階層で比較すると、上流階級の平均寿命が35歳、商人、および比較的恵まれた地位にある手工業者は22歳、労働者・日雇い人夫、および被雇用階級一般ではわずか15歳であった。もちろん、当時の乳児が死亡する割合は非常に高かったので、その分をさしひかなければならないのだが、それでも当時の人々、とくに労働者たちの寿命の短さには驚かされる。

【ジェファソン】33歳の若さで独立宣言の起草を主導した人物で、南部植民地を代表する政治家であった。中央集権をはかる強い連邦政府よりも州の権利を重んじ、農業国を理想とした。第3代大統領としてルイジアナ購入で国土を倍増させ、探検隊を西部調査に送った。奴隷制を批判したにもかかわらず、ヴァージニアの大農園主として奴隷を所有し続けた。



↑13 **ボストン茶会事件** 茶法に反対する住民たちが、先住民に変装してボストン港に入港した東インド会社船をおそい、積み荷の茶を海に投げこんだ。

✓ **チェック**
アメリカが独立に向かう決定的な転機はどこにあったのだろうか？

史料 アメリカ独立宣言(抜粋)

われわれは、以下の原理は自明のことと考える。まず、人間はすべて平等に創造されており、創造主から不可譲の諸権利をあたえられており、それらのなかには生命、自由、幸福追求の権利がある。…(中略)…いかなる形態の政府であれ、この目的をそごうものとなった場合は、政府を改変、廃止して、国民の安全と幸福とを達成する可能性を最も大きくするとの原則に従い、しかるべく機構をとどのえた権力を組織して新しい政府を樹立するのが、国民の権利である。

(歴史学研究会編『世界大百科事典』)

↑17 **アメリカ独立宣言** 独立宣言では、当時のヨーロッパでみられた人民主権の考え方をもとに、圧政に対する抵抗が正当化されている。こうした抵抗権という考え方には、イギリスの思想家ロック(1632~1704)の影響をみることができる。

発問例

Q③ アメリカ独立宣言には、いったんつくられた政府が目的にはずれたことをおこなった場合、人民はどのようなことをしてよいと書いてあるだろうか。その箇所を二重線を引いて、まとめてみよう。

A③ 新政府を樹立してよいとしている。

Q④ 合衆国憲法における平等は本当に実現したのだろうか？

A④ 黒人奴隷・先住民・女性の政治参加が許されないだけでなく、年季奉公人や移民などの選挙権も制限された。また、法的な差別だけでなく、社会的な差別は現代にまで残り問題となっている。

アメリカ独立戦争

イギリスからの独立だけでなく、政治体制そのものの変革をともなったことからアメリカ独立革命ともよぶ。

印紙法

ほとんどすべての印刷物に印紙をはることを義務づけた。これは印紙を使わせる形での印刷物への課税であった。

✓ チェック

解答・指導例 (例) 茶法制定をきっかけにおこったボストン茶会事件で、イギリスへの抵抗姿勢を示したことが、独立への転機となった。

(例) 独立宣言の「圧政に対して抵抗する権利がある」ことを明確にし、植民地側が独立戦争を正当化したことで、後戻りできなくなった。

トライ!

解答例 アメリカ独立戦争中に発表された独立宣言では、人間の平等などのちの民主主義につながる考え方が唱えられ、合衆国憲法に規定された三権分立の考え方は、現在の各国の憲法で採用されている。

評価の観点

知識・技能 イギリス産業革命とアメリカ独立戦争に関する基本的事項を理解している。

思考・判断・表現 イギリス産業革命とアメリカ独立戦争に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめている。

POINT

ヨーロッパでの七年戦争(1756~1763)と併行して、北アメリカではフレンチ・インディアン戦争(1754~1763)が、インドではペンシルバニアの戦い(1754)が、いずれも現地勢力を巻き込み、フランスがイギリスにやぶれた。

アメリカ独立戦争

北米東海岸には、17世紀からイギリスが植民地を建設した。その南部には奴隷を使ってタバコや米を生産するプランテーション(大農園)が形成され、北部では自営による農業や商工業が発展した。フランスとの植民地戦争に勝利したイギリスは、財政難の解消をめざし、これら植民地の支配強化にのりだした。1765年に制定された印紙法に対し、植民地側は「代表なくして課税なし」と唱えて撤回をせよと求めた。また1773年の茶法で、東インド会社に茶の独占販売権が与えられると、ボストン茶会事件がおこった。植民地側は大陸会議をひらいて本国に抗議し、武力衝突をきっかけにアメリカ独立戦争がはじまった。

ワシントンひきいる独立軍は最初苦戦したが、トマス・ペインが著した『コモン・センス』は独立の気運を高め、1776年には独立宣言が発表された。この宣言は人間の平等をうたい、それを侵害する政府に対する抵抗権を主張した。その後、イギリスを牽制したいフランスやスペインの協力も得て植民地側はしだいに優勢となり、1783年のパリ条約でイギリスはアメリカ合衆国の独立を承認した。

1787年に合衆国憲法が制定され、自由で平等な市民が主権をもつことや、立法・行政・司法の三権分立が定められた。独立当初のアメリカ合衆国は、13州からなる連合体にすぎなかったが、憲法制定を経て、連邦政府の強化がはかられた(連邦主義)。

トライ! アメリカ独立戦争は現代の社会にどのような影響をもたらしたのだろうか。

キーワード 国民国家

言語、文化、宗教、歴史などをともにすると考える国民でつくる国家。一国家には一国民しかないという理念にもとづく。そのため、少数派を抑圧したり、国家間の対立をまねくことがあった。このような国民意識をもつ国民国家は、18世紀にヨーロッパで出現し、19世紀には世界にひろまった。

① 本国会議に植民地の代表は議席をもたないのだから、本国会議は植民地に課税できないという主張を表現したことである。

ワシントン

(1732~99)
アメリカ合衆国建国の父



独立戦争時の総司令官。のち憲法制定会議議長を経て初代大統領となった。アメリカ合衆国の経済・財政の基礎をきずき、対外政策では国際的中立の必要を説いた。ワシントンの死後、その名を記念して首都ワシントンがつけられた。

② この市民のなかに、先住民やアフリカ系の奴隷は含まれていなかった。

ミニトピック

トマス・ペインは、フランス革命のさいにフランスに渡り、国民公会の議員になった。しかし、国王処刑に反対したため、ジャコバン派により逮捕され、さらにナポレオンに反対したために、アメリカにもどり不遇な晩年を送った。